

# 家族で災害に備えよう

これから梅雨に入ってくると、大雨や長雨が降り、いつ自分の地域で災害が起こるか分かりません。災害から生命と財産を守るには、住んでいる地域の危険箇所や避難路、避難場所などを事前に調べておき、早めに避難することが重要です。大切な家族の身に危険が及ばないよう、日頃から家族で備えておくことが大切です。

危機管理課危機管理係 ☎0824-73-1206

## 家族でチェック!

チェックリスト	アドバイス
<input type="checkbox"/> 自宅周辺の危険箇所を把握している。 	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自宅の周囲を歩いてみて、自分たちで防災マップを作ってみましょう。</li> <li>○土砂災害危険箇所などは広島県のホームページで確認できます。 <b>TOPページ→防災・安全</b> →<b>広島県防災web→土砂災害ポータル</b></li> <li>○ホームページが見られない場合は、危機管理課にお問い合わせください。</li> </ul>
<input type="checkbox"/> 避難場所、避難経路を把握している。 	<ul style="list-style-type: none"> <li>○避難場所は市のホームページで確認できます。 <b>TOPページ→暮らし・環境→安心・安全→避難所一覧</b></li> <li>○地元の自治振興センターなどでも確認できます。ホームページが見られない場合は、危機管理課にお問い合わせください。</li> </ul>
<input type="checkbox"/> 外出や勤めの家族との連絡や安否確認の方法がわかっている。 	<ul style="list-style-type: none"> <li>○災害時には携帯電話がつながりにくくなることがあります。勤め先の電話番号を確認するなど、携帯電話以外での連絡方法も確認しておきましょう。</li> <li>○集合場所を決めておきましょう。</li> <li>○NTTは電話がつながりにくい状況の緩和を図るため、「災害伝言ダイヤルサービス(171番)」を提供しています。利用方法を確認しておきましょう。→利用方法は次ページへ</li> </ul>
<input type="checkbox"/> 非常持ち出し品を準備している。 	<ul style="list-style-type: none"> <li>○食料品(飲料水やレトルト食品など3日分)、貴重品(現金・預金通帳・印鑑)、衣類(上着・下着、タオル)、生活用品(懐中電灯、ローソク、マッチ・ライター、携帯ラジオ)、医薬品(常備薬、救急セット)など必要最小限のものを準備しておきましょう。</li> <li>○必要品はご家庭で異なりますので、しっかり家族で確認し、準備しておきましょう。</li> </ul>
<p>そのほか、地域の防災訓練に参加したり、日頃から隣近所で避難について声掛けをしておきましょう。また、水が止まったときのために、お風呂に水をためておきましょう。</p>	

## ●災害情報に注意し 早めの避難を

通常の雨とは違った激しい降り方や、長雨が続くような場合には、「災害が起こるかも」と常に意識しておくことが、身を守ることに繋がります。テレビやラジオなどで気象情報をチェックする、状況によって早めに避難するなど、自助を念頭に置き行動するよう心がけましょう。

### ★気象情報をチェック!

大雨が予想されて実際に降り始めたら、常にニュースや気象情報、市や県からの情報に気を配りましょう。1時間に20ミ以上、または降り始めから100ミ以上になったら要注意です。

## ●洪水時の避難のポイント

- 川の氾らん時には、避難に危険が伴います。特に次のことに注意が必要です。
- ①素足、長靴は禁物。ひもでしめられる運動靴にする。
  - ②家族ではぐれないようお互いの身体をロープで結んで避難する。
  - ③歩ける深さは男性で約70センチ、女性で約50センチが目安。腰まで水深があるようなら無理に避難せず高所で救援を待つ。
  - ④長い棒を杖がわりにして、水面下の安全を確認しながら歩く。
  - ⑤お年寄りや病人などは、手を引いたり、背負ったりするなど、手助けする。

## 自主防災組織 活動補助金を創設

市は、地域の防災力の向上と防災意識の高揚を図るため、自主防災組織の設立や活動に対し補助金を交付しています。詳しくは危機管理課へお問い合わせください。

〔補助対象者〕  
「庄原市自主防災組織届出書」を市に提出した自主防災組織  
〔補助対象事業・経費〕  
○地域防災活動事業(地域の防災活動に要する経費)  
①防災知識の向上を目的とする研修会の開催または参加に要する経費

- ②防災意識の向上を目的とする活動に要する経費
  - ③防災訓練の実施に要する経費
  - ④自主防災組織設立準備に要した経費
  - 防災資機材整備事業(防災資機材の購入に要する経費)
  - ①情報収集伝達用具
  - ②消火防火用具
  - ③救出・救護用具
  - ④給食給水用具
  - ⑤資機材収納庫
  - ⑥その他防災資機材
- 〔補助金の額〕  
補助対象経費の5分の4以内  
上限は300万円

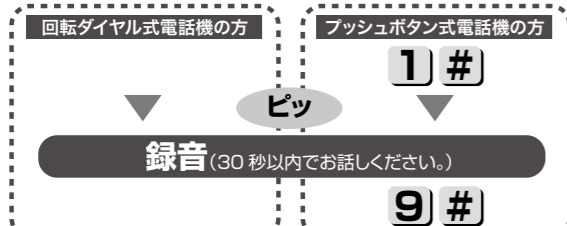
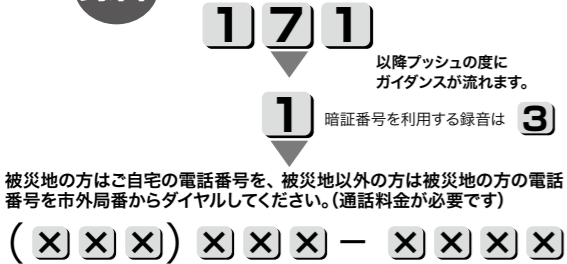
## インターネットでも情報収集を

- 「広島県防災情報システム」  
http://www.bousai.pref.hiroshima.jp/
- 「広島地方気象台」  
http://www.jma-net.go.jp/hiroshima/
- 「広島県土砂災害マップ」  
http://www.sabo.pref.hiroshima.lg.jp/
- 「川の防災情報」http://www.river.go.jp/

## 災害伝言ダイヤル 171 の利用方法

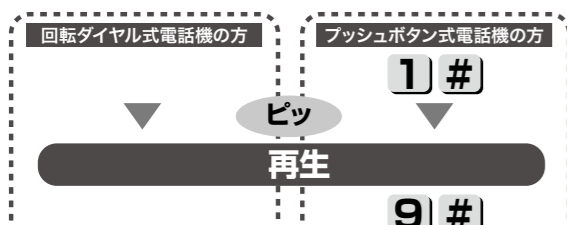
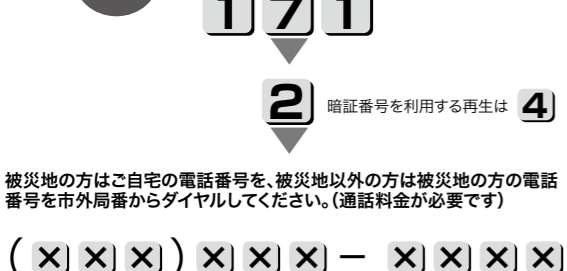
加入電話、ISDN、公衆電話、ひかり電話、災害時特設公衆電話から利用できます。携帯電話などからの利用は、各通信事業者にお問い合わせください。

### 伝言の録音方法



※伝言は被災地の方の電話番号を知っているすべての方が聞くことができます。  
聞かれないメッセージを録音する場合は、あらかじめ暗証番号を決めておく必要があります。  
◆最新の情報は、NTT 西日本公式ホームページなどでご確認ください。

### 伝言の再生方法



伝言を追加して録音されるときは 3 #